

MOBILE SUIT RX-93-V2 ©創通・サンライズ
Hi-V GUNDAM
"Ver.Ka"

SPECIFICATION / MODEL NUMBER:RX-93-v2, HEIGHT:20.0m, WEIGHT:27.9t, MATERIAL:GUNDARIUM ALLOY
ARMAMENTS / 60mm VULCAN GUN×2, BEAM RIFLE×1, NEW HYPER BAZOOKA×1, BEAM SABER×3,
SHIELD(BEAM CANNON×1, MISSILE×4)×1, BEAM GATLING GUN×1, FIN FUNNEL×6

CONSTRUCTOR:ANAHEIM ELECTRONICS

MOBILE SUIT RX-93-V2
Gundam models Designed and produced by Ka.
Hi-V GUNDAM
"Ver.Ka"

MOBILE SUIT RX-93-v2 Hi-V GUNDAM "Ver.Ka"

Instruction making staff

Produce/direction : KATOKI HAJIME
Edition : ISHIWAKI TSUYOSHI (GUNDAM A)
Edition/writing : MITARAI KOJI
Design : SAITO DAISUKE
Photo : HONDA KEIGO (ENTANIYA)
Coloring : MATSUMOTO TAKASHI
Marking : KONNO YUJI (JAM)



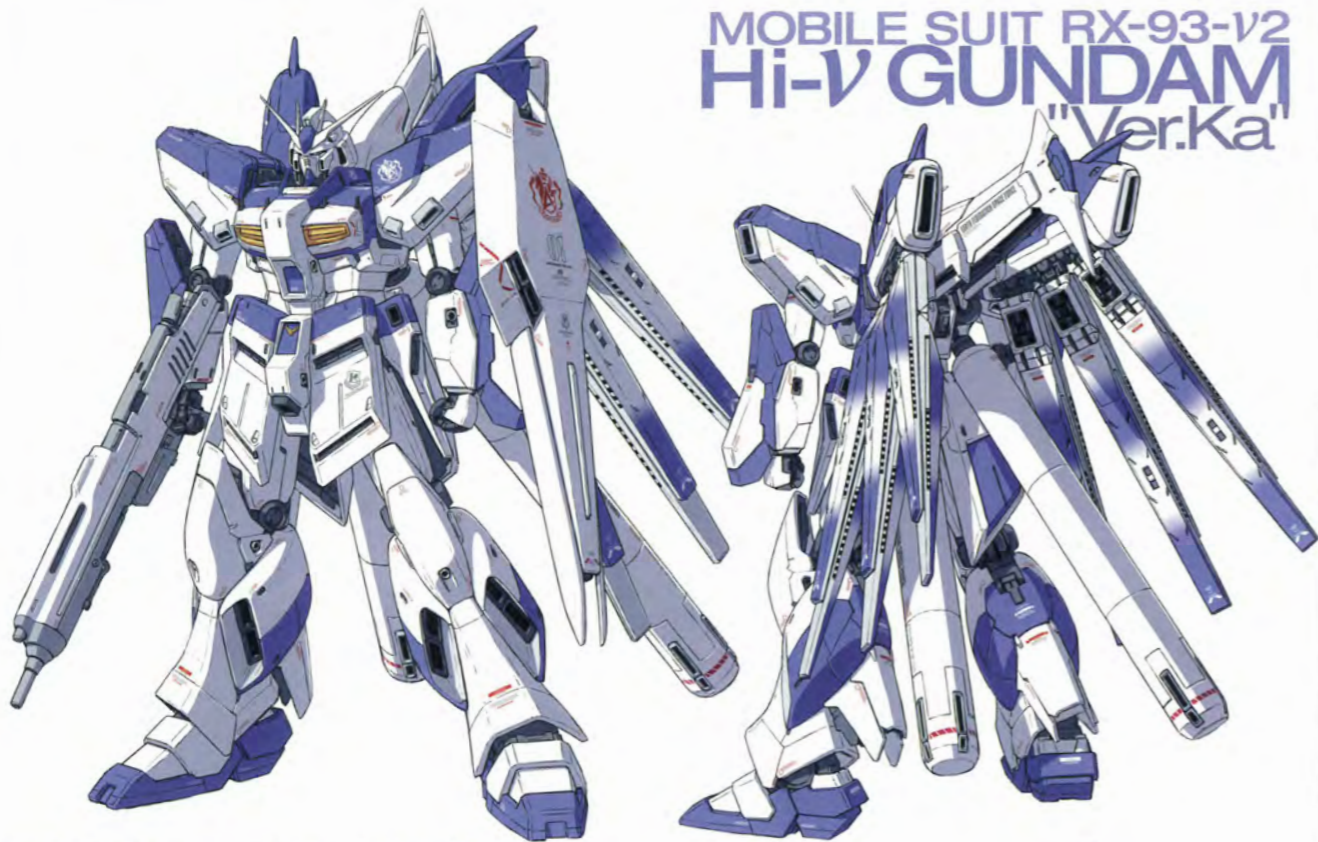
GUNDAM.INFO Search
www.gundam.info
バンダイホビーサイト www.bandai-hobby.net/
Fees accrued by your communication and connection to the internet are under customer's responsibility.
インターネット上での通信料等はお客様の責任となります。

MG
Ver.Ka

AMURO RAY'S CUSTOMIZE MOBILE SUIT FOR NEW TYPE
U.C.0093 E.F.S.F. (LONDO BELL UNIT)

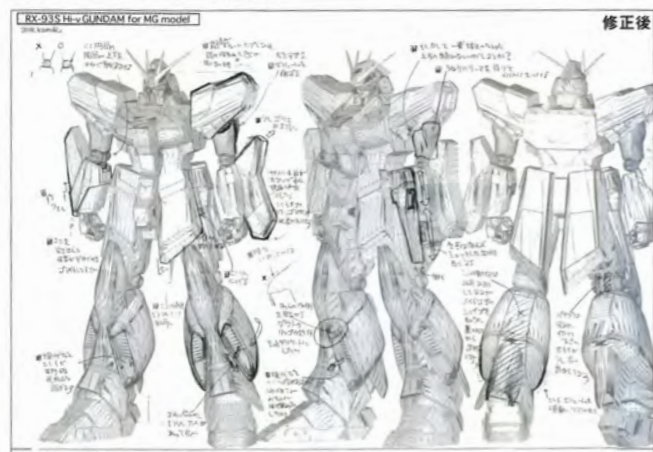
**BAN
DAI**

MOBILE SUIT RX-93-V2 Hi-V GUNDAM "Ver.Ka"



RX-93-V2 Hi-V ガンダム

↑Hi-Vガンダムは Rond・ベル隊所属のニュータイプ専用MSである。元々アナハイム・エレクトロニクス社のフォン・ブラウン工場で開発中の新型MSであったものを、ブライト・ノアが赴任の際に手土産として Rond・ベルに配備されるよう手配したのである。メイン・パイロット兼メカニックのアムロ・レイみずから設計したサイコミュを搭載し、攻防一体のサイコミュ兵装「フィン・ファンネル」を装備する



修正後

↑カトキ氏による各部の修正案。出渕氏の初期画稿にイメージを近づけるべく、肩や腕、脚の形状について指示が書き込まれている



←左の画稿では装甲の隙間から見える内部ディテールのバランス調整、上の画稿ではファンネル・ハンガーにダクトを増設、接続基部へスジ彫りの追加が指示されている

Hi-V ガンダム (HWS 装備型)

→HWS(ヘビー・ウェポン・システム)は、機体に装甲および武装を追加することで強化を図る「フルアーマー化」プランである。左腕に装着されたハイ・メガ・シールドは変形機構をもち、バックパックに取り付けることで第2形態へと移行する



↓展開機構をもつ肩上面装甲と本体の接続部周辺について、V字の溝や傾斜の指示が書かれている。プレーンな装甲に対し、変化に富み、情報量の多い部分



「Hi-Vガンダム」デザインの原点を探って

Hi-Vガンダムは特異な立ち位置に存在しながら人気の高いMSであり、公式設定デザインを元にMGで一度キット化されている。このたびのMG Ver.Kaではどのようなアプローチで挑んだのだろうか。

Interviewee: KATOKI HAJIME

Hi-Vガンダムは富野由悠季監督による小説「機動戦士ガンダム 逆襲のシャア ベルトーチカ・チルドレン」に登場する。「ベルトーチカ・チルドレン」は富野監督が「モチーフ小説」と表現するように、本編である劇場版シナリオ第一稿をベースにしたオリジナル作品になっている。映画と活字での表現の違いや、作品に対するプリミティブな思いが表出した、富野監督の代表作のひとつである。Hi-Vガンダムはパラレルな存在で、本編である劇場版のVガンダムと同じ立ち位置になる。「ベルトーチカ・チルドレン」にはほかにもオリジナルのMSが登場し、Hi-Vガンダムも含め劇場版デザインを手がけた出渕裕氏によって起こされている。さらにいえば、劇場版に即したストーリーと前日譚を収録したアニメージュ文庫の「逆襲のシャア」(徳間書店)も存在する。アニメージュ文庫版ではカバーイラスト、挿絵をSF漫画家・星野之宣氏が手がけ、独自のアレンジが加えられたVガンダムが登場する。「逆襲のシャア」はパラレルな要素をいくつも抱えた異色な作品といえる。

カトキ「小説『ベルトーチカ・チルドレン』でメカデザインを担当された出渕さん自身が、新たに公式設定としてデザインを起こし直してキット化したのが最初のMG Hi-Vガンダム(2007年発売)です。この時のHi-Vガンダムは平成風のスマートなシルエットでリファインされて、MG化ののちもHGUCや、HCM-proなどのリリースが続き、どれも十分な成功を収めました」

出渕氏によって刷新されたHi-Vガンダムは「EXTREME VS.」シリーズなどのゲームにも登場し、20~30代のファンにはリニューアル版のほうがなじみのあるデザインだろう。

カトキ「ただ、私はリニューアル前のデザインがもったいないなあとずっと思っていて、最初のMGの開発の時も細部の処理などの手伝いをしながら、たましいHi-Vガンダムを変えちゃうのは惜しいと言ったんですが、まあ将来的にはリニューアル版とはまた違った商品化もきっとあり得るだろうからと、その時はそれで納得していました。それが今回バンダイさんから「次のVer.Kaは逆シャアの流れでHi-Vガンダムをやるのはどうでしょう?」と言われて、コミカライズの「ベルトーチカ・チルドレン」などの機運から、このタイミング

でならオールドタイプのHi-Vガンダムもあられるんじゃないかとまた思い始めて、出渕さんや、当時のサンライズ担当の方とも相談していったって、こうしてやらせていただける形になったのです」

「ベルトーチカ・チルドレン」でシャアが乗るナイチンゲールは怪獣のようなフォルムだが、発表当時のHi-Vガンダムもそれに負けない力強さを秘めていた。ボリュームアップした四肢と装甲に加え、羽根のようなファンネル・ハンガーを装備した姿は、シンプルなVガンダムを見慣れてきた当時のファンに衝撃を与えた。カラーリングも「逆襲のシャア」でのシックな色合いから、ガンダムでは珍しいパープルに変更されている。

カトキ「前回のMGで、ああいった明るめのブルーがオフィシャルの成形色となる前には、Hi-Vガンダムの機体は、もっと紫に近い色で塗られていました。今回のVer.Kaの仕様では昔の画稿っぽい濃い紫の成形色が良いのではないかとバンダイさんをお願いして、普段はあまり使わないパープル系のプラスチックを探してもらいました」

キットではファンの記憶の中にあるであろうかつてのHi-Vガンダムを極力再現できるよう、フィン・ファンネルの塗り分けに選択できる幅をもたせてある。

カトキ「フィン・ファンネルのカラーリングについても、過去の資料をあたると、塗り分けはされておらず、白の単色で着色された画稿もありました。しかしパープルのグラデーション

で描かれたものも有名でしたから、キットでは白のプラで成型して、好み次第でデカールを使ったり、塗装したり出来るようになってます」

さらには意欲的な試みとして出渕氏が企画CCA-MSV(「逆襲のシャア」モビルスーツ・バリエーション)でデザインした「HWS(ヘビー・ウェポン・システム)」との融合も果たしている。

カトキ「HWSは、本来だとVガンダムのフルアーマー装備なんですけど、今回はHi-Vガンダムに移植するという思い切ったアレンジをしてみました。これまでのHWSの改良型と考えて頂いても、Ver.Ka的な解釈の「遊び」に過ぎないと考えて頂いても、自由に捉えて頂ければと思います。出渕さんにもHi-Vに付けさせてねって了解を買いましたよ(笑)」

たとえば映画にはオリジナル公開版からディレクターズ・カットなどいくつもバージョンが存在することもあり、その解釈の違いを楽しむこともできる。

カトキ「『ファーストガンダム』でのGファイターとコア・ブースターの関係のように、ガンダム作品ではパラレルな存在が生まれることがときにあります。ガンダムファンはその双方を受け入れ楽しむ術を長い時間をかけて身につけてきたので、リニューアル版に続き、長らく手つかずだった初期のデザイン版も今回商品化されたことで、Hi-Vガンダムの魅力を語ったり作ったり、皆さんが掘り下げる時のきっかけにでもなればうれしいですね」

機動戦士ガンダム 逆襲のシャア ベルトーチカ・チルドレン

U.C.0093年、Rond・ベル隊のアムロ・レイは、ネオ・ジオン総帥となったシャア・アズナブルとの対決に備え、Hi-Vガンダムの開発を進めていた。シャアは地球連邦政府に宣戦を布告し、地球寒冷化作戦を敢行。資源衛星アクシズを地球に降下させるべく、行動を開始する。赤いMSナイチンゲールで戦場に赴くシャアに対し、アムロは完成したばかりのHi-Vガンダムで決戦に挑む



→Hi-Vガンダムのファースト・イメージが小説「ベルトーチカ・チルドレン」の解説イラストにて出渕裕氏の手により描かれている

●角川スニーカー文庫「機動戦士ガンダム 逆襲のシャア ベルトーチカ・チルドレン」著: 富野由悠季/角川書店



◀コクピットハッチが上方向にスライドし、さらに胸部中央ブロックも可動する。内部はリニアシートも再現され、カメラアイを発光させるLEDユニット（別売り）を収納できる



↑ガンブラ用LEDユニット（緑）（別売り）

↑Vガンダムと比較してみるとHi-Vガンダムは力強いフォルムになった

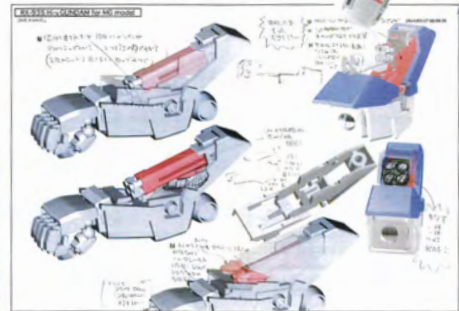


◀右前腕部のカバーを開き下部ブロックをスライドさせると、4門の砲身を備えたビーム・ガトリングガンが引き出される



↑左前腕部にビーム・サーベルを装着したままビーム刃を取り付け可能で、右前腕部のビーム・ガトリングガンにもビーム刃を取り付けられる

→バックパックは中央にテール・スタビレーター、両側にファンネル・ハンガー、下部にプロペラント・タンクが配置されている



↑収納スペースに対して、極力隙間をなくしつつビーム・ガトリングガンが大きくなるよう、内部パーツの調整が検討されている



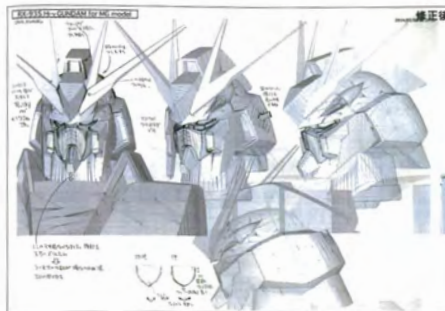
◀左腕の予備ビーム・サーベルラックにはカバーが付き、カバーと下部ブロックを展開するとビーム・サーベルが引き出せる



↑リアスカート・アーマーは大腿部が隠れるほどの大きさで、2か所の装甲が展開。内部のスラスターが露出する



↑頭部は前後に長い形状をもつ。マスク部分の傾斜をゆるやかに、カメラアイが近づきすぎないように注意を促している



◀砲身をスライドさせてコンパクトになったニュー・ハイパー・バズーカを、バックパックのマウント・ラッチに装着できる



→アムロのパーソナルマークを象った専用台座が付属する。接続アームを利用すれば、攻撃形態のフィン・ファンネルを周囲に配置してディスプレイできる



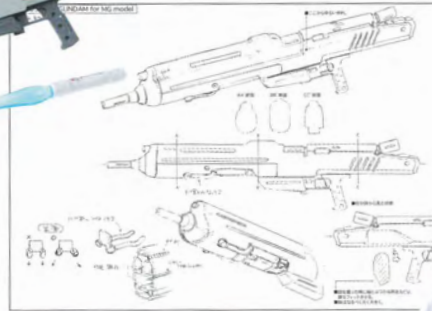
↑アムロ・レイのフィギュアが2種付属



↓ファンネル・ハンガー上部のカバーを開くとビーム・サーベルを収納できる

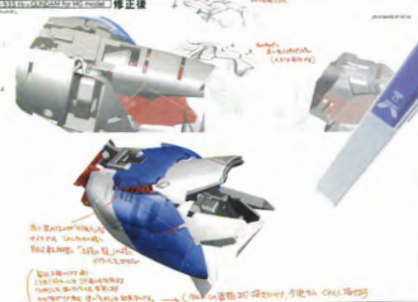


→ビーム・ライフルの側面は均一な平面ではなく、3か所での断面図では形状も異なる。バレル下のチューブはうねったような形状で、ハの字になる位置に取り付けられている



◀脚部はふくらはぎの上部と両側面、ノズル・カバーが展開する。スラスターなどの内部メカも露出する

→脚部装甲を展開することで見える内部メカに対する案。くっきりとした影の深いディテールになるよう提案されている



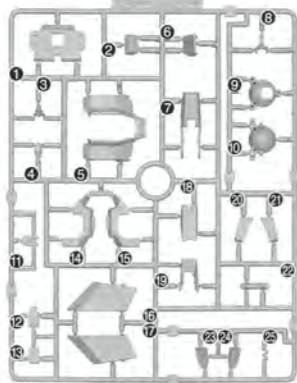
↑ファンネル・ハンガーのソケットに折り畳んだフィン・ファンネルを3基ずつ装着する。フィン・ファンネルのパープルのグラデーションは水転写式デカールで再現できる



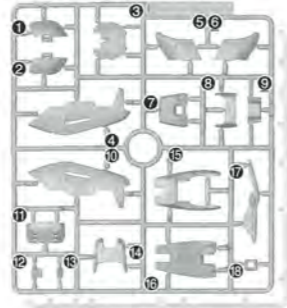
パーツリスト

(×印は使用しないパーツです。)

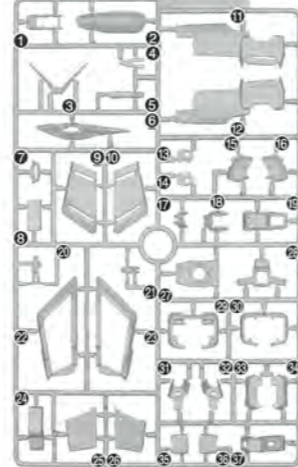
Aパーツ(イロプラ) アンダーゲート有り
(スチロール樹脂: PS)



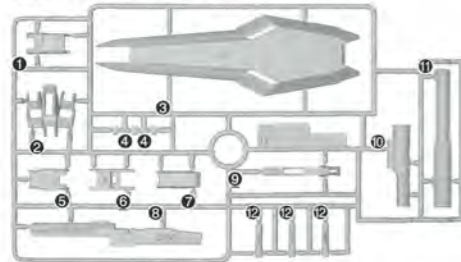
Bパーツ(パープル) (×2)
アンダーゲート有り
(スチロール樹脂: PS)



Cパーツ(ホワイ) アンダーゲート有り
(スチロール樹脂: PS)



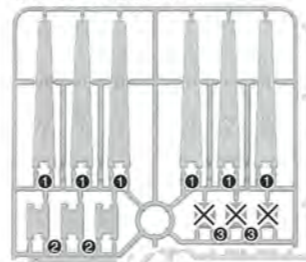
Dパーツ(ホワイ) アンダーゲート有り
(スチロール樹脂: PS)



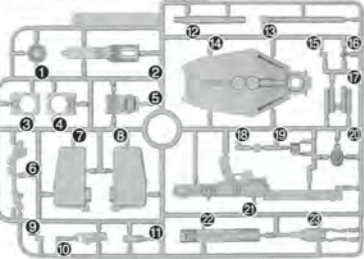
Eパーツ(ホワイ) (×2)
アンダーゲート有り
(スチロール樹脂: PS)



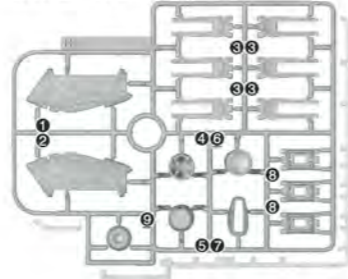
Fパーツ(ライトグレー) (×2)
(スチロール樹脂: PS)



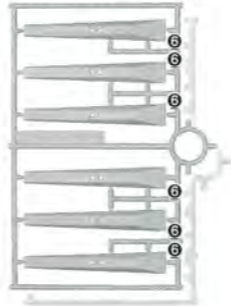
Gパーツ(グレー) アンダーゲート有り
(スチロール樹脂: PS)



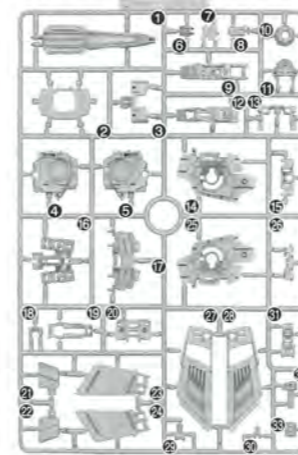
Hパーツ(ホワイ) (×2)
アンダーゲート有り
(スチロール樹脂: PS)



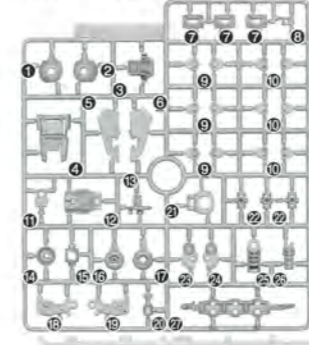
Iパーツ(ホワイ) (×2)
(スチロール樹脂: PS)



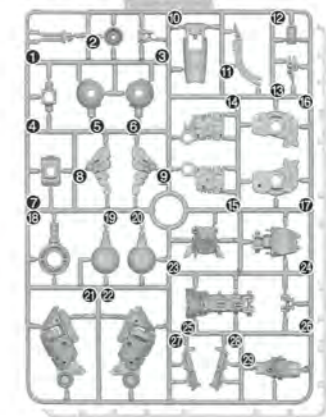
Jパーツ(ダークグレー)
(スチロール樹脂: PS)



Kパーツ(ダークグレー) (×2)
(スチロール樹脂: PS)



Lパーツ(ダークグレー) (×2)
(スチロール樹脂: PS)



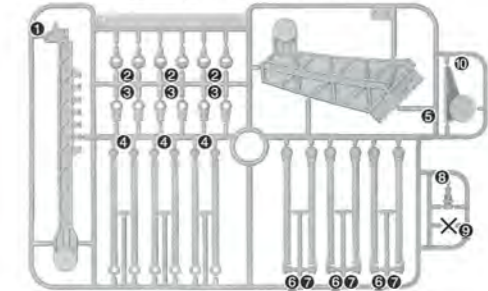
M1パーツ(ライトグレー)
アンダーゲート有り
(スチロール樹脂: PS)



Qパーツ(ブラック)
(スチロール樹脂: PS)



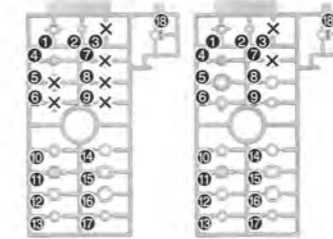
Rパーツ(クリア) (ABS樹脂: ABS)



M2パーツ(ライトグレー)
アンダーゲート有り
(スチロール樹脂: PS)



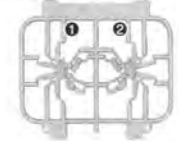
PC-208Aパーツ(ダークグレー) (×2)
(ポリエチレン: PE)



SB1パーツ(クリアブルー)
(スチロール樹脂: PS)



MP1パーツ(ダークグレー)
(ABS樹脂: ABS)
(ポリプロピレン: PP)

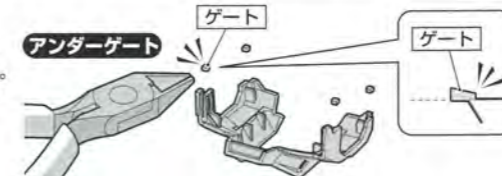


MP1(エモーションマニピュレーターSP)は全関節可動のため、非常に精密な造りになっています。
※各指関節は図解の矢印の方向以外には絶対に動かさないでください。
※各関節を動かすときは、関節の根元部分を押しさえながら、ゆっくり動かしてください。

※余ったPC⑩は、別売りの「MG Hi-νガンダム Ver.Ka用HWS拡張セット」のシールドを組み立てる時に使用しますので、なくさないように保管してください。

※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

※説明書でアンダーゲートと表記されているパーツには裏側等にゲートがあります。▶の印が付いている部分は忘れないようにきれいに切り取ってください。



カラーシール……………1枚
水転写式デカール……………1枚

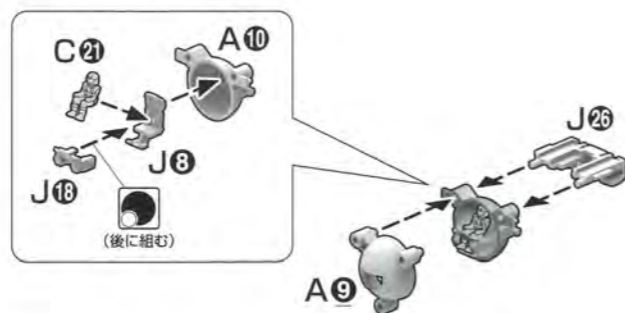
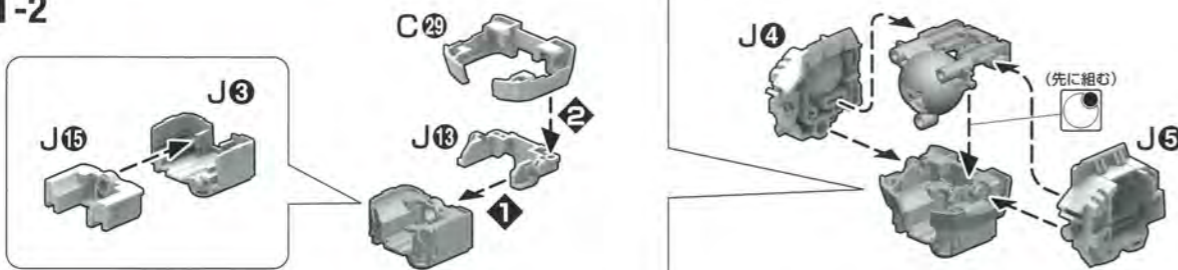
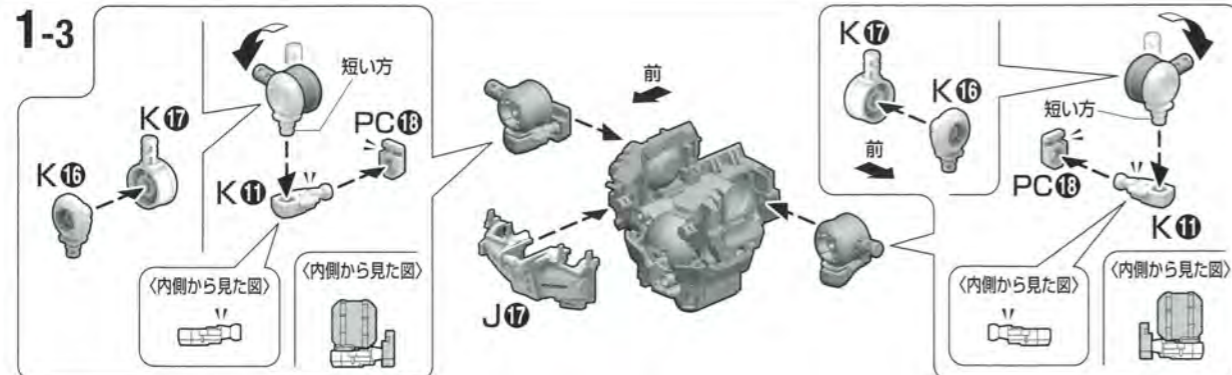
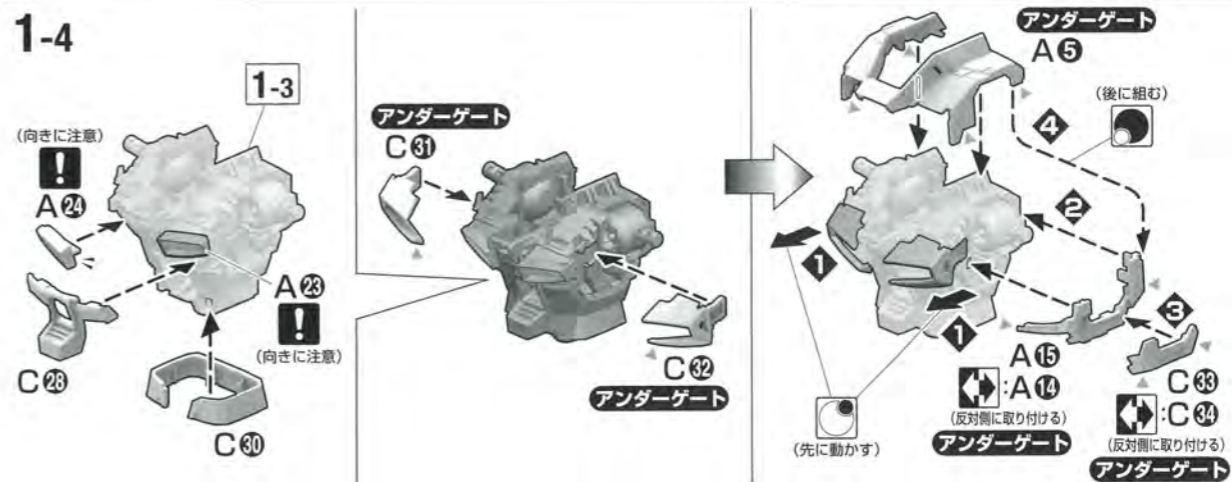
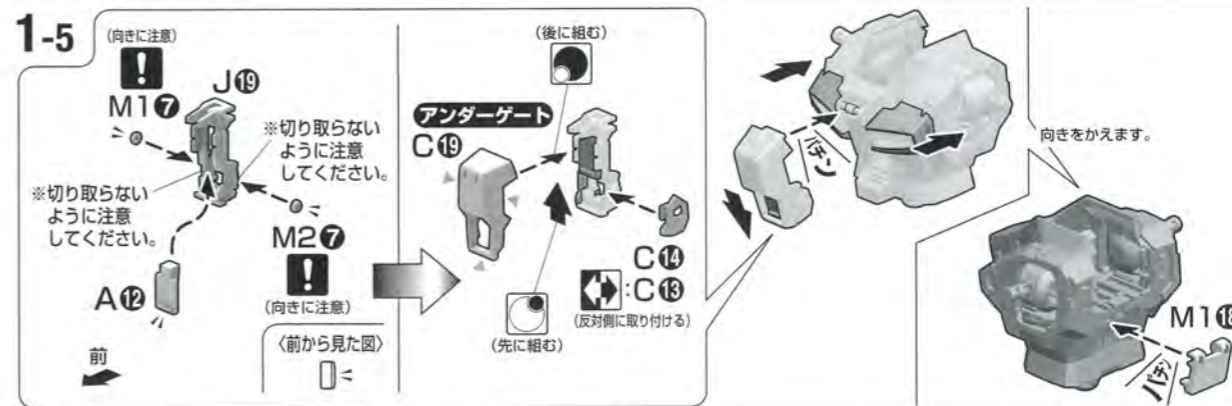
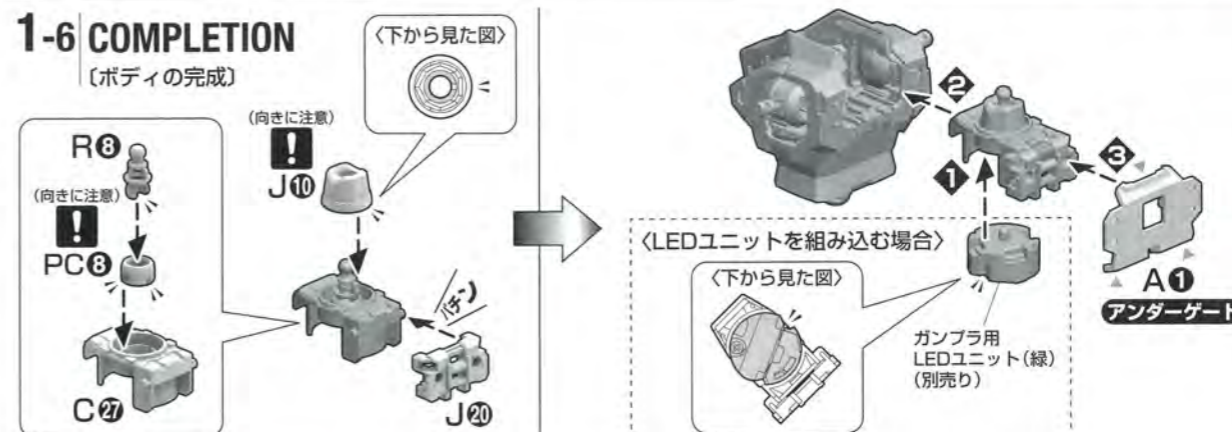
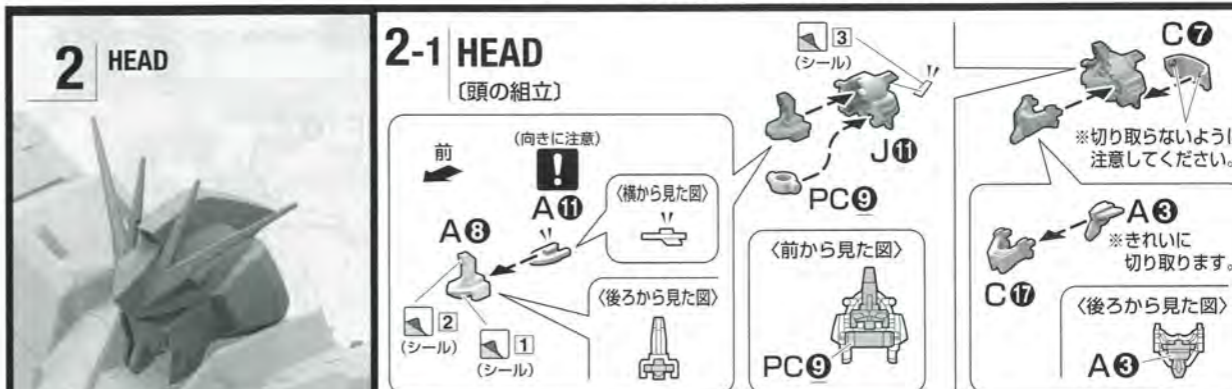
注意

ご購入のお客様へ必ずお読みください。

- 本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品がありますので、小さなお子様が悪く飲んでしまわないように注意してください。窒息などの危険があります。
- ビニール袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 尖った部分や鋭い部分がありますので、取り扱いや保管場所に注意してください。思わぬケガをする恐れがあります。

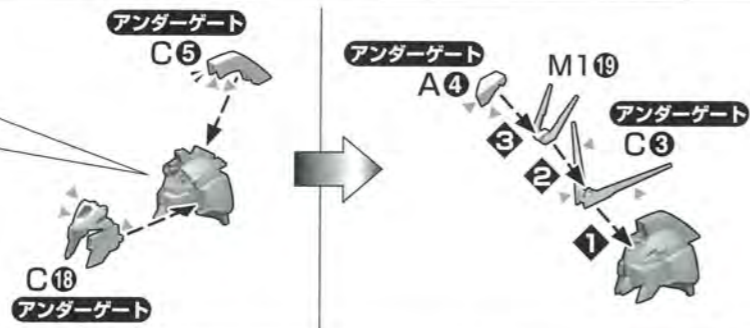
〈組み立てる時の注意〉

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。
- 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

**1 BODY****1-1 BODY**
〔ボディの組立〕**1-2****1-3****1-4****1-5****1-6 COMPLETION**
〔ボディの完成〕**2 HEAD****2-1 HEAD**
〔頭の組立〕

2-2 COMPLETION

(頭の完成)



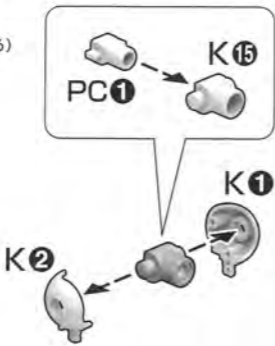
3 RIGHT ARM

4 LEFT ARM

3-1 ARMS

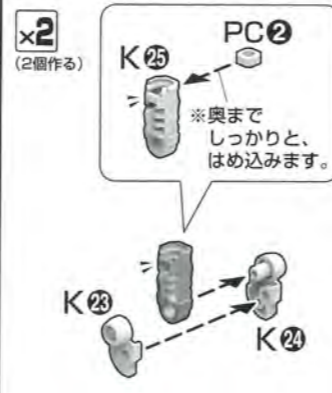
(腕の組立)

×2
(2個作る)



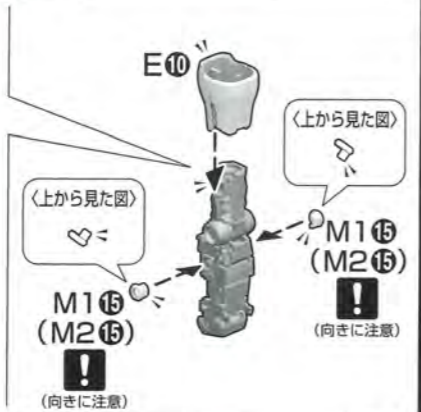
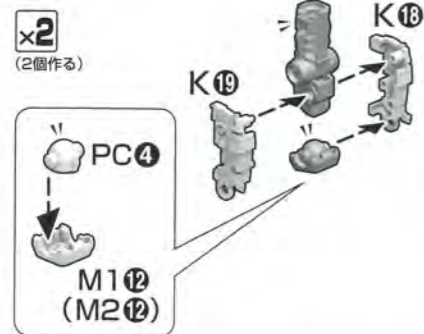
3-2

×2
(2個作る)



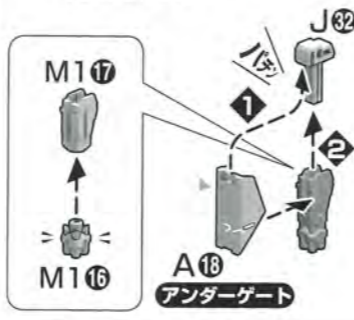
3-3

×2
(2個作る)

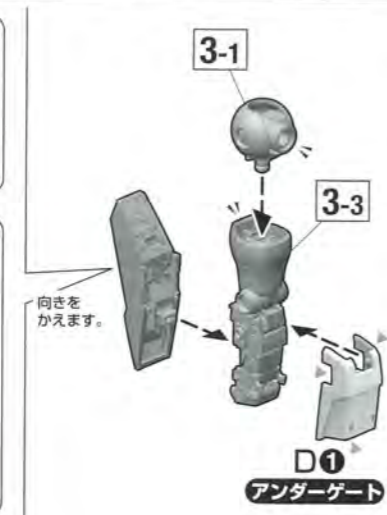
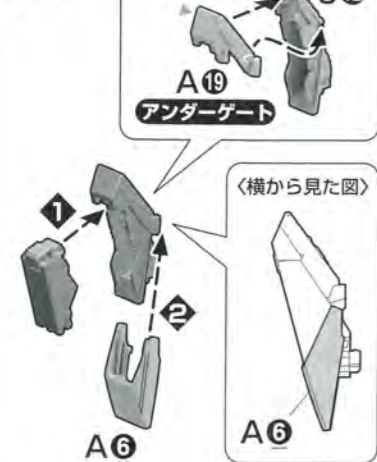


3-4 RIGHT ARM

(右腕の組立)



3-5



3-6 HAND

(手の組立)

※■部分を切り取ります。
※左手(MP1②)も同じように切り取ります。



3-7

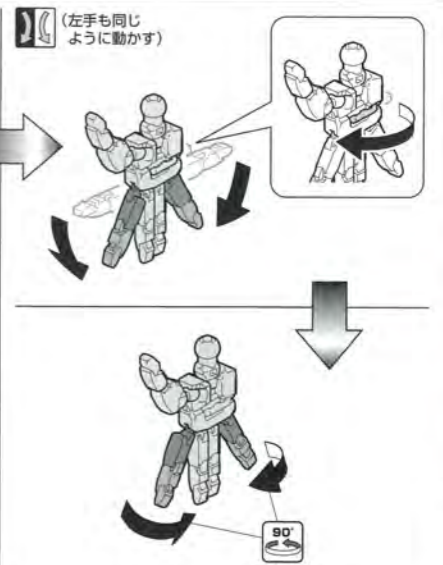
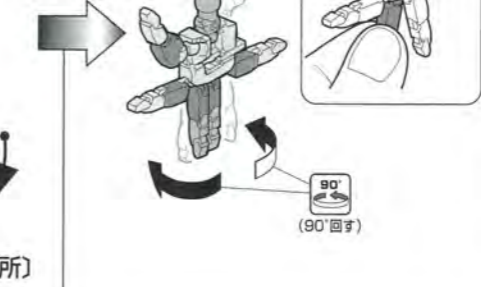
※・部分の各関節が可動します。
※各指関節(■部分)を動かすときは必ず矢印の方向に動かしてください。
※逆方向に動かすと破損する恐れがあります。

※破損の恐れがありますので、逆関節方向には絶対に曲げないでください。



※左手も同じように動かします。
※各指関節を動かす時は関節の根元部分を押しさえながらゆっくり動かしてください。

向きをかえます。



3-8



※(左手も同じように動かす)

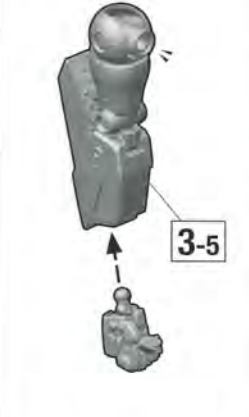


※指付根部の関節は強度上、固めになっていますので、指の付け根を押しさえながら点線の箇所を一本ずつ動かすようにしてください。

〈完成画像〉
※説明のため、手甲パーツ(C35・C36)は外してあります。

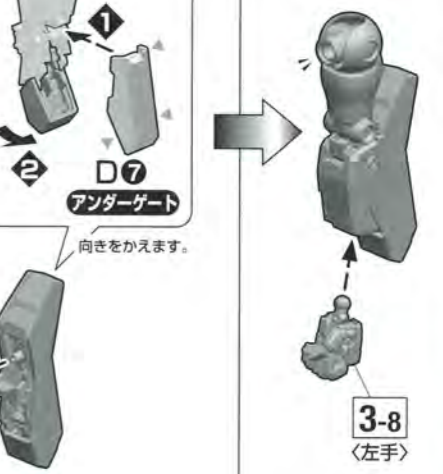
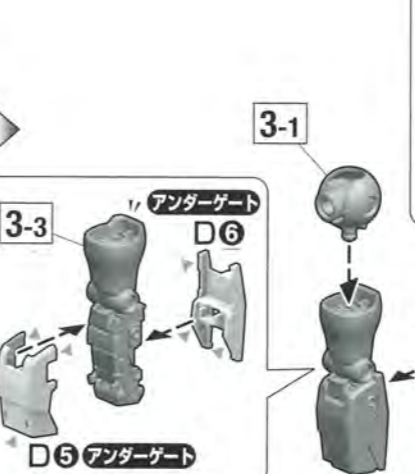
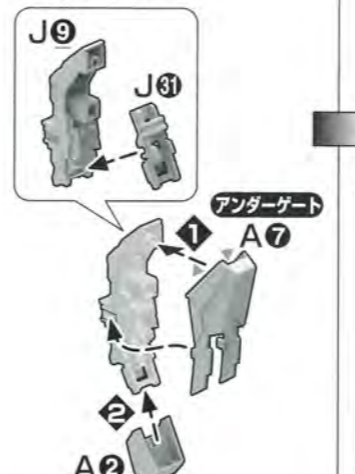
3-9 COMPLETION

(右腕の完成)



4 LEFT ARM

(左腕の組立)





5-1 UPPER BODY
〔上半身の組立〕

×2 (2個作る)
K6
K3

5-2
×2 (2個作る)
※奥までしっかりと、はめ込みます。
K4 K21
E12 アンダーゲート E13 アンダーゲート
B14 アンダーゲート

5-3 COMPLETION
〔上半身の完成〕

×2 (2個作る)
B11
M11 (M211) (両側取り付ける)
M114 (M214) (両側取り付ける)
B18
M113 (M213) アンダーゲート

2
1
3
4



6-1 WAIST
〔腰の組立〕

J14 PC6 J25
K13 J2 K13
K13

6-2
6-1 C24 アンダーゲート
C1 アンダーゲート C8 アンダーゲート
A25 A13
M26
M16 (向きに注意して反対側に取り付ける)
C37 アンダーゲート

6-3
アンダーゲート A20
K8 J24 C9

6-4
J23 アンダーゲート A21
K8 C10

6-5
アンダーゲート C22
A17 アンダーゲート
※切り取らないように注意してください。
J27

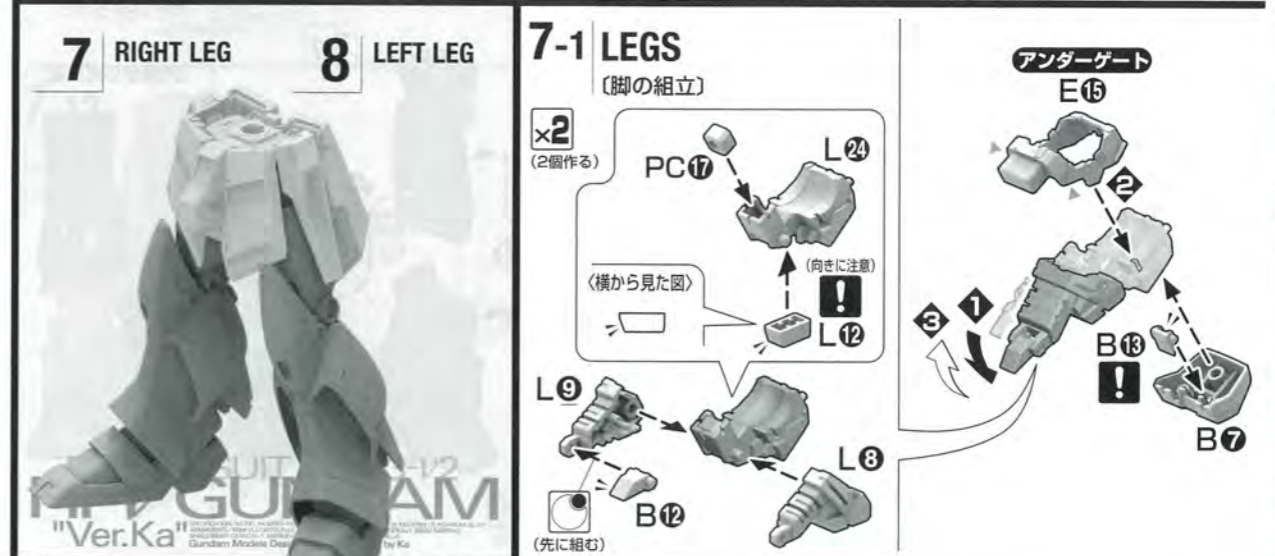
6-6 COMPLETION
〔腰の完成〕
アンダーゲート C23
A16 アンダーゲート
※切り取らないように注意してください。
向きをかえます。

6-3 6-2
アンダーゲート E16
B13
B7
J33 C26 アンダーゲート
6-5 6-4
向きをかえます。

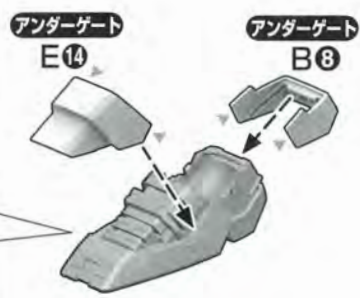
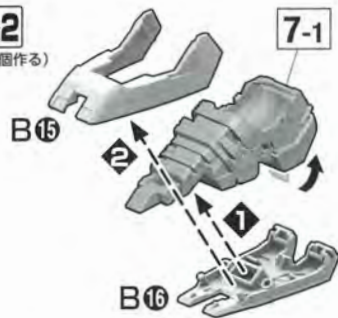
7 RIGHT LEG **8 LEFT LEG**

7-1 LEGS
〔脚の組立〕

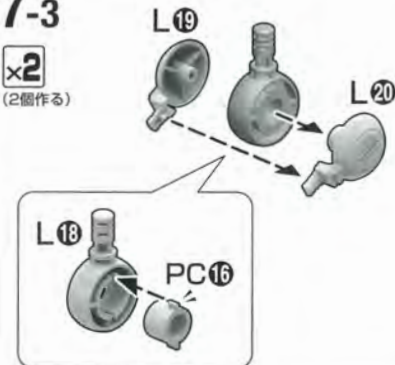
×2 (2個作る)
PC17 L24
L12 (向きに注意)
L9 B12 L8
E16
B13
B7



7-2

x2
(2個作る)

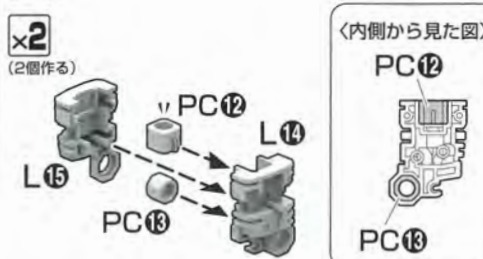
7-3

x2
(2個作る)

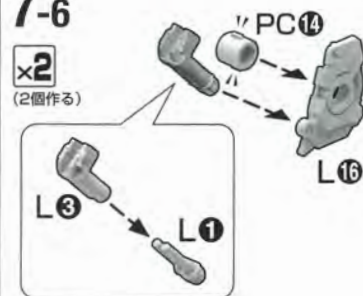
7-4

x2
(2個作る)

7-5

x2
(2個作る)

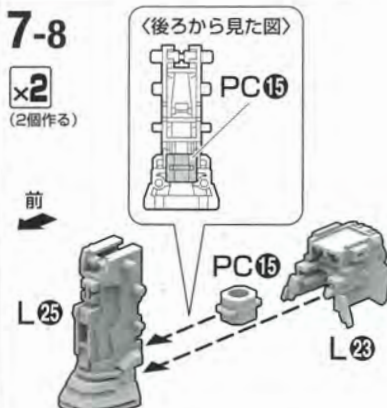
7-6

x2
(2個作る)

7-7

x2
(2個作る)

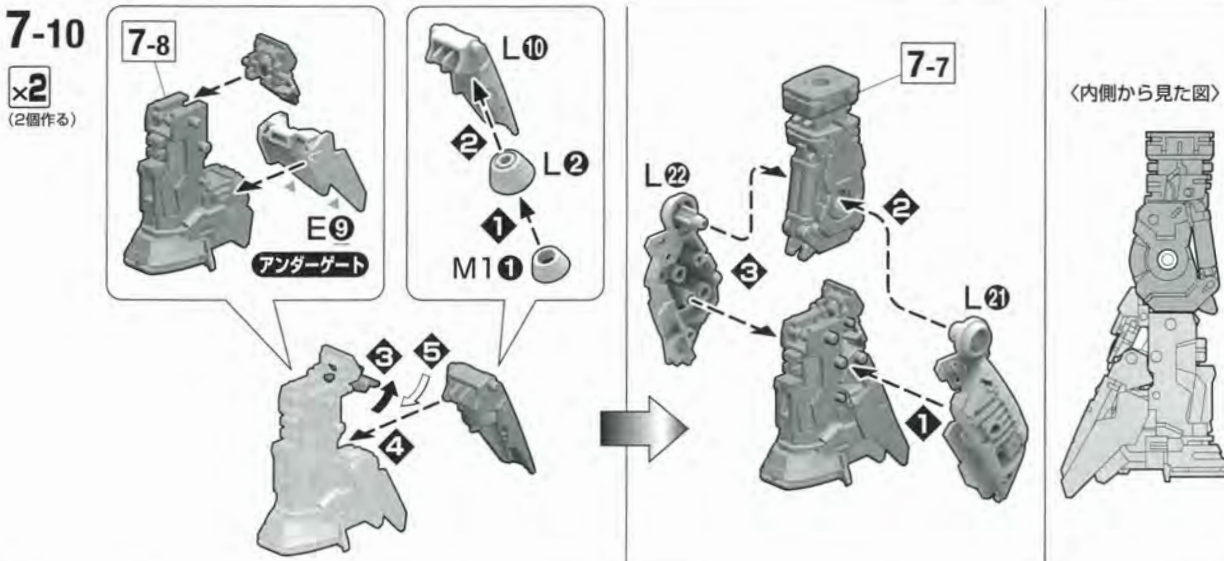
7-8

x2
(2個作る)

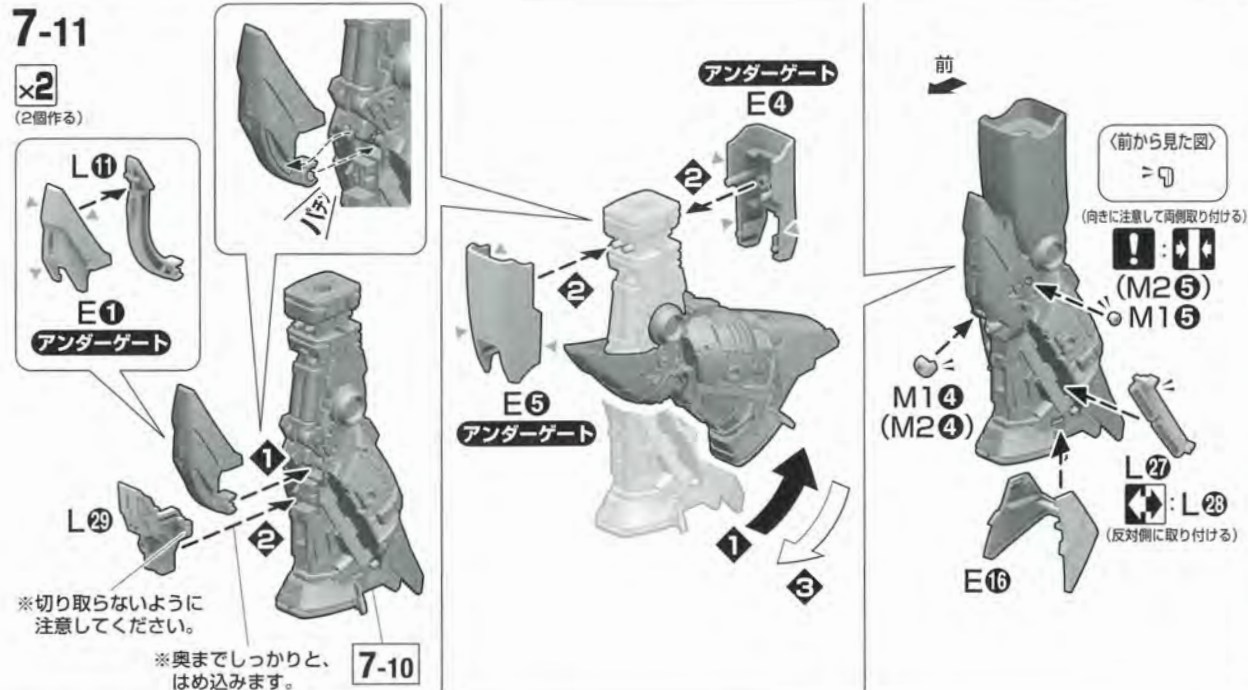
7-9

x2
(2個作る)

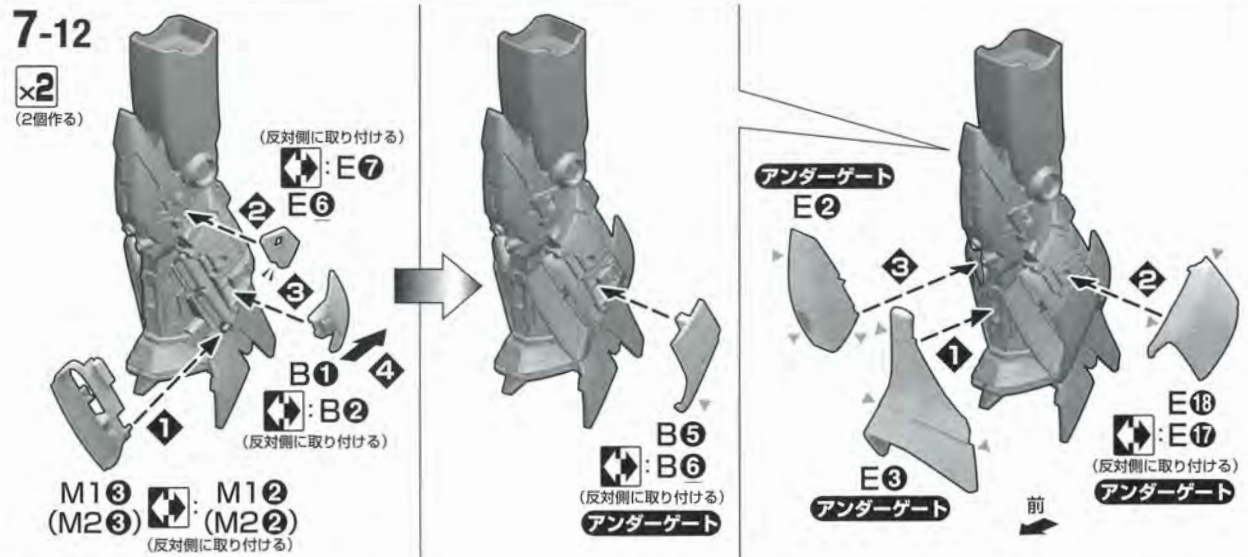
7-10

x2
(2個作る)

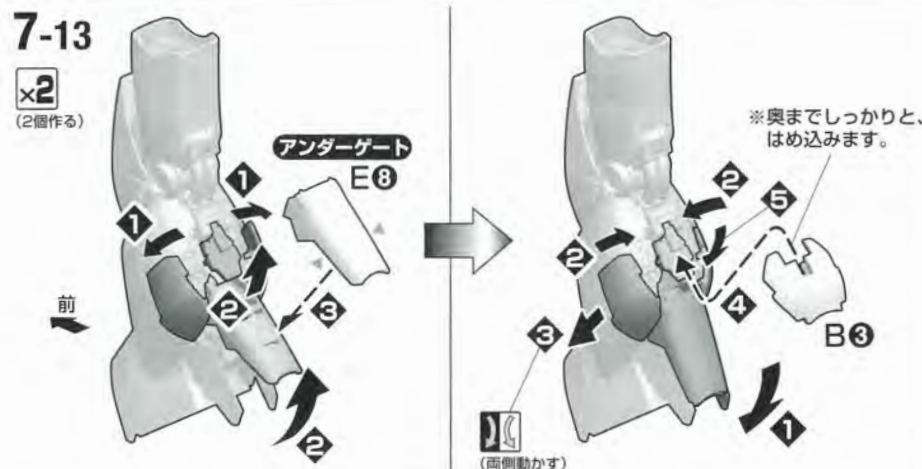
7-11

x2
(2個作る)

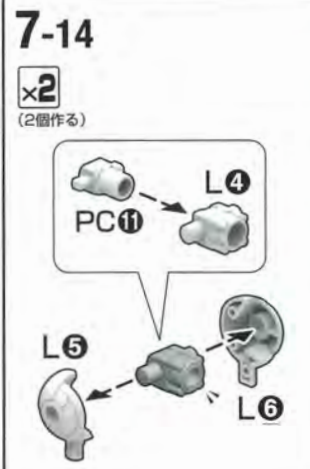
7-12

x2
(2個作る)

7-13

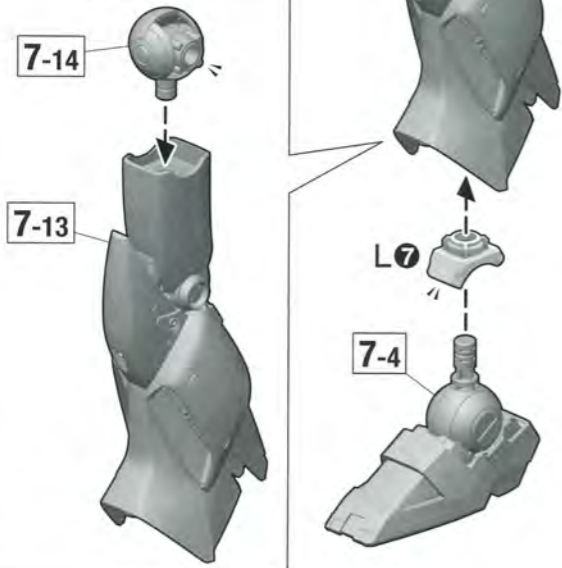
x2
(2個作る)

7-14

x2
(2個作る)

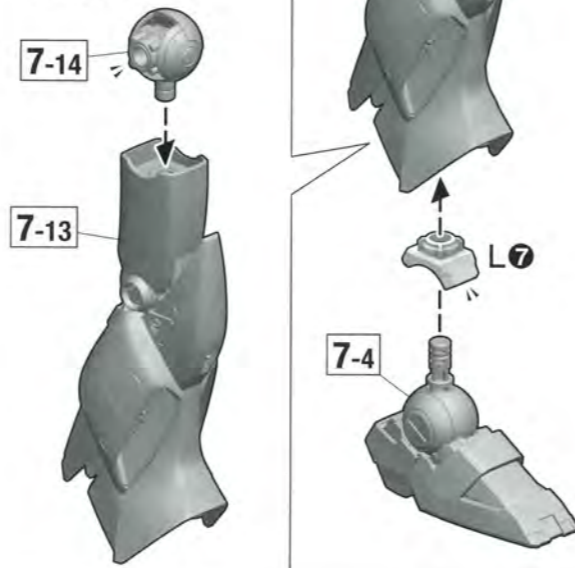
7-15 RIGHT LEG

(右脚の組立)



8 LEFT LEG

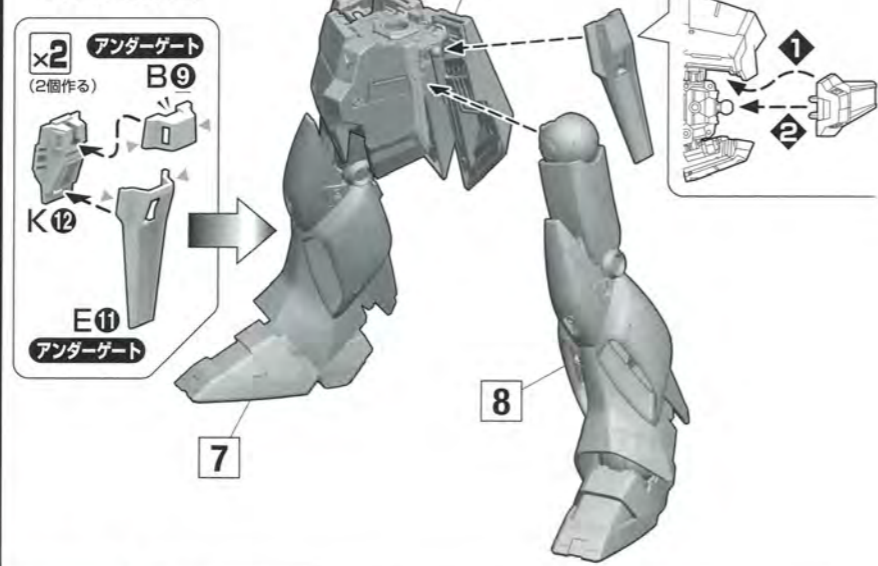
(左脚の組立)



9 BOTTOM

9 BOTTOM

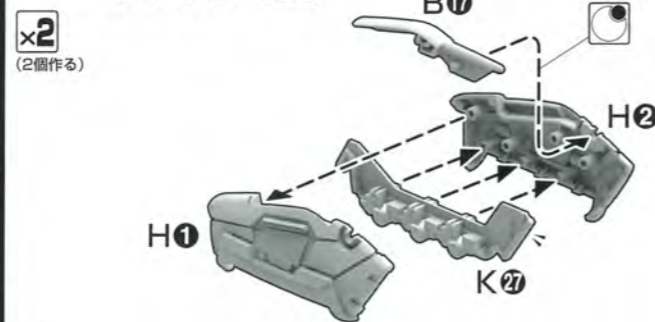
(下半身の組立)



10 BACK PACK

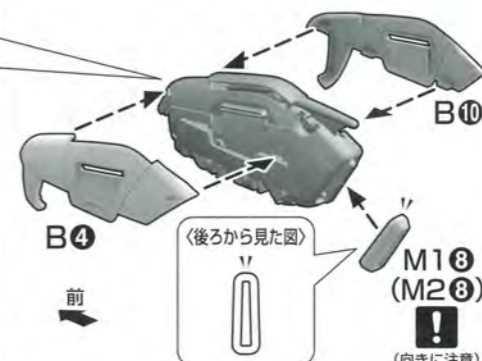
10-1 BACK PACK

(バックパックの組立)



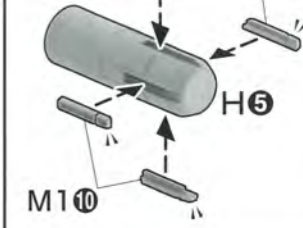
10-2

x2
(2個作る)



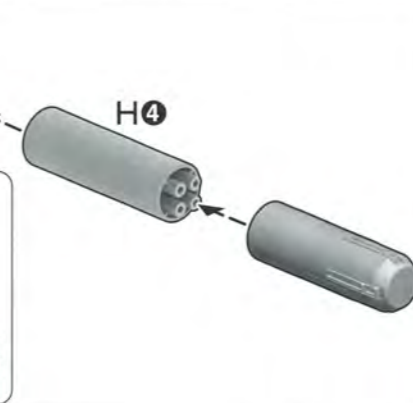
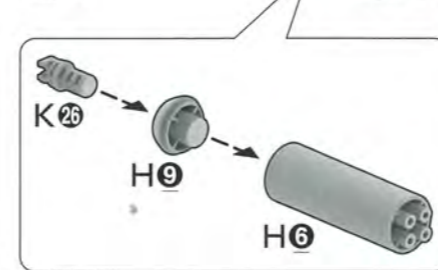
10-3

x2
(2個作る)

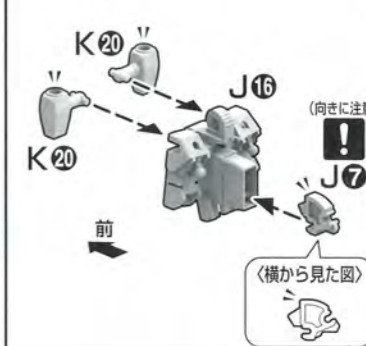


10-4

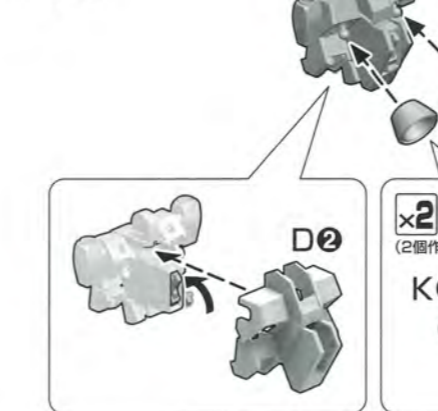
x2
(2個作る)



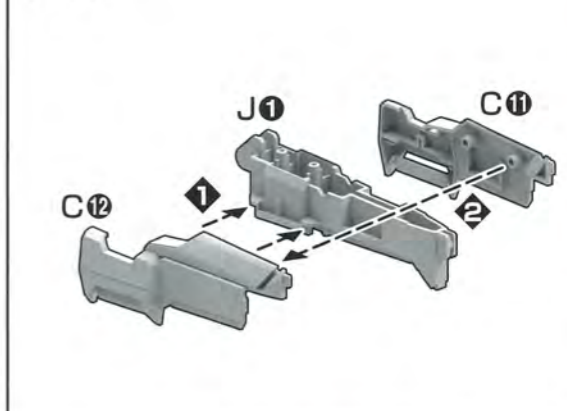
10-5



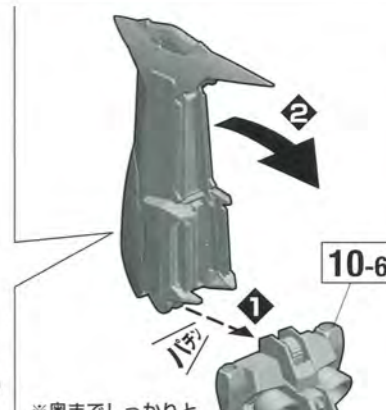
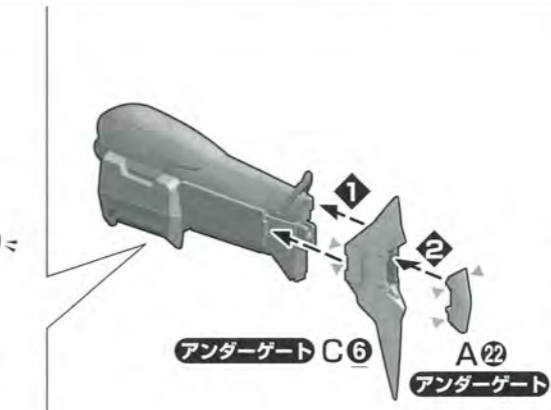
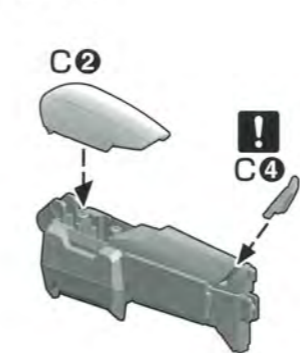
10-6



10-7

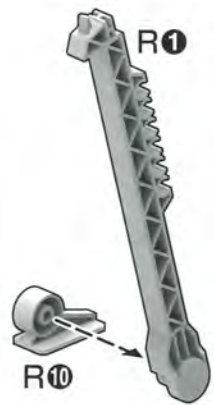


10-8

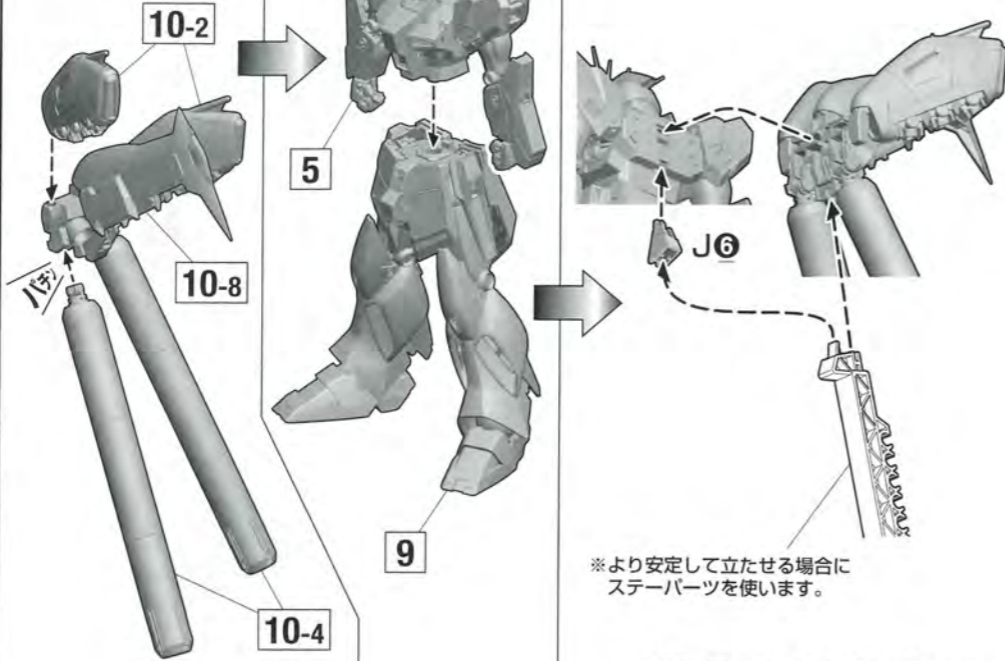


※奥までしっかりと
はめ込んでから
回転させてください。

11-1 〈ステーパーツの 組立〉



11-2 BODY ASSEMBLE



※C②は好きなところに飾ってください。

12 BEAM RIFLE

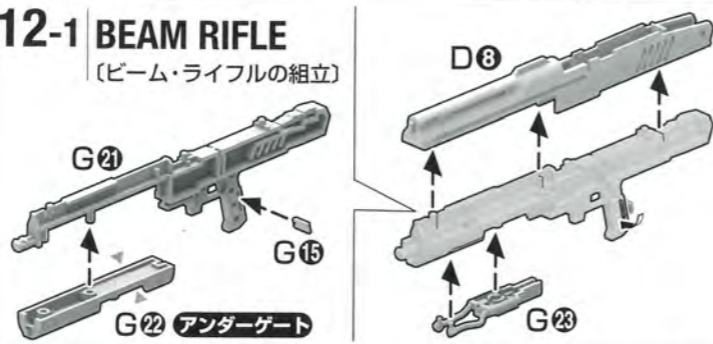
13 NEW HYPER BAZOOKA

14 SHIELD

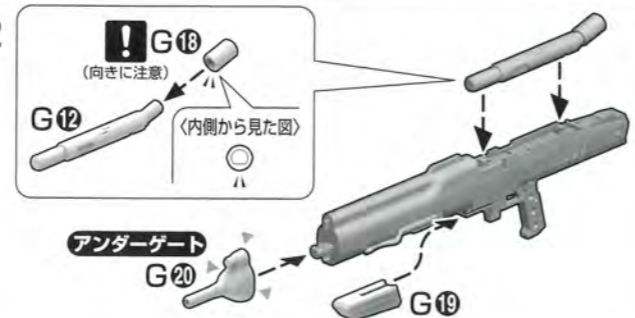
15 BEAM SABER

12-1 BEAM RIFLE

〔ビーム・ライフルの組立〕

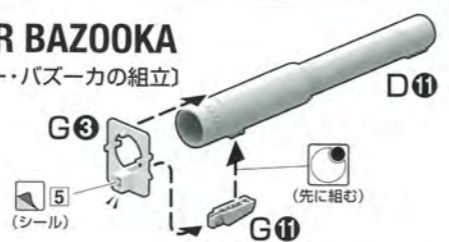


12-2

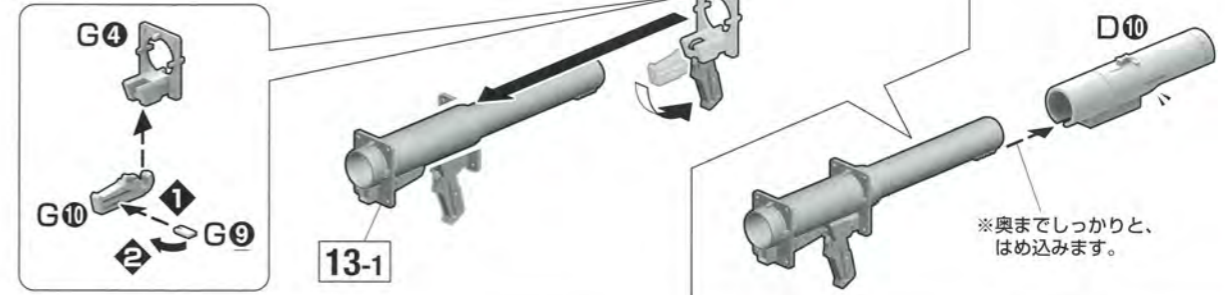


13-1 NEW HYPER BAZOOKA

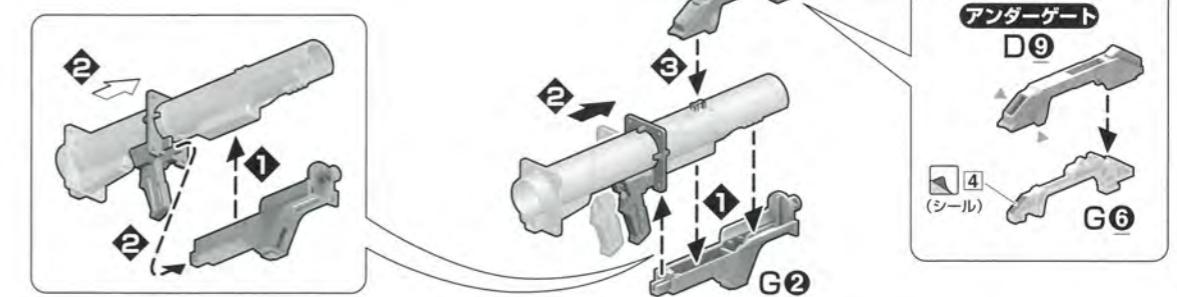
〔ニュー・ハイパー・バズーカの組立〕



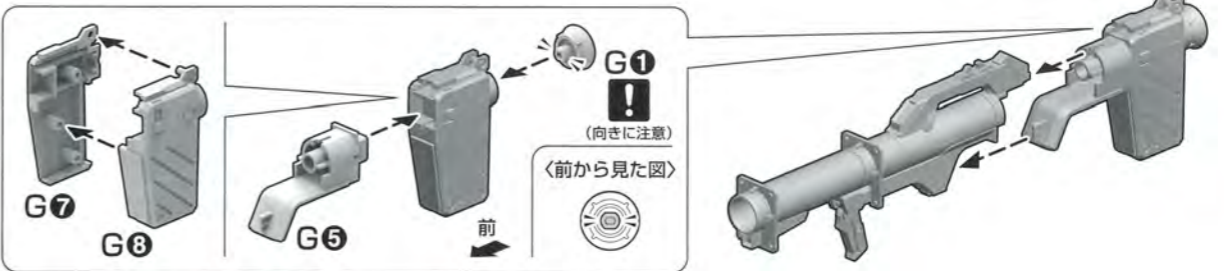
13-2



13-3

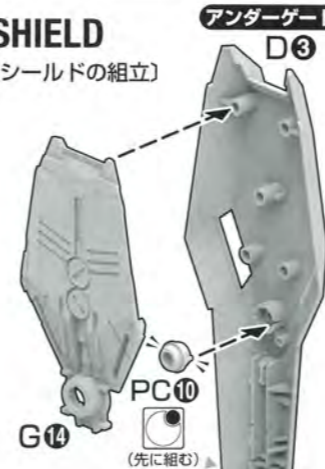


13-4

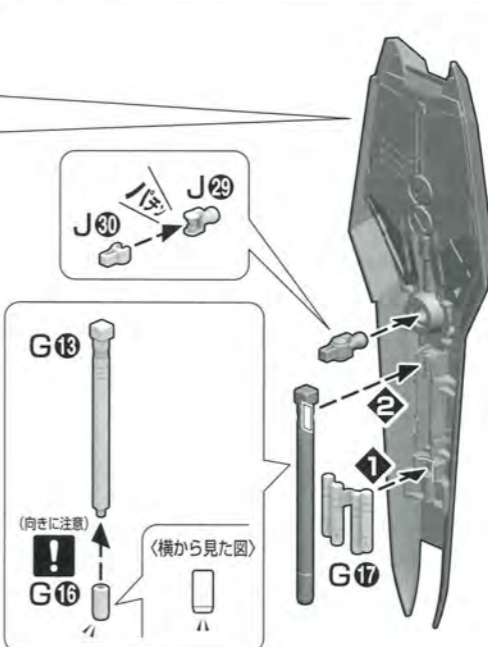


14 SHIELD

〔シールドの組立〕

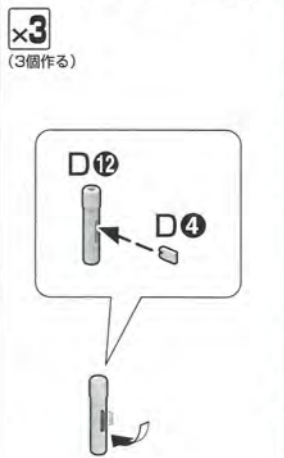


※余ったPC⑩は、別売りの
「MG Hi-Vガンダム Ver.Ka用
HWS拡張セット」のシールドを
組み立てる時に使用しますので、
なくさないように保管してください。



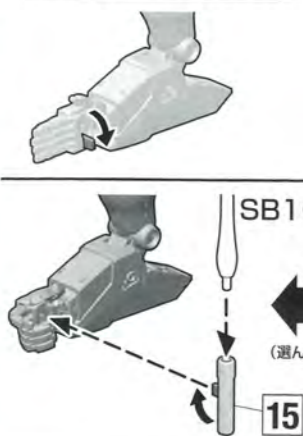
15 BEAM SABER

〔ビーム・サーベルの組立〕

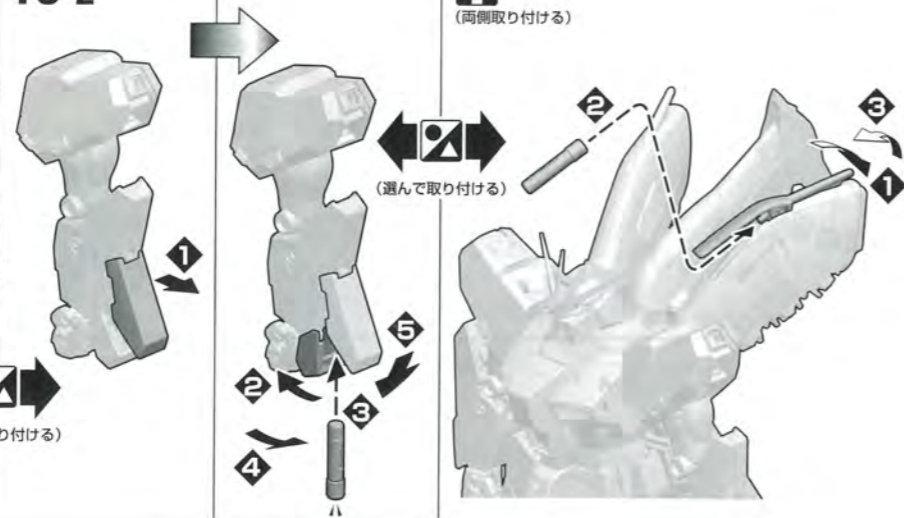


16-1

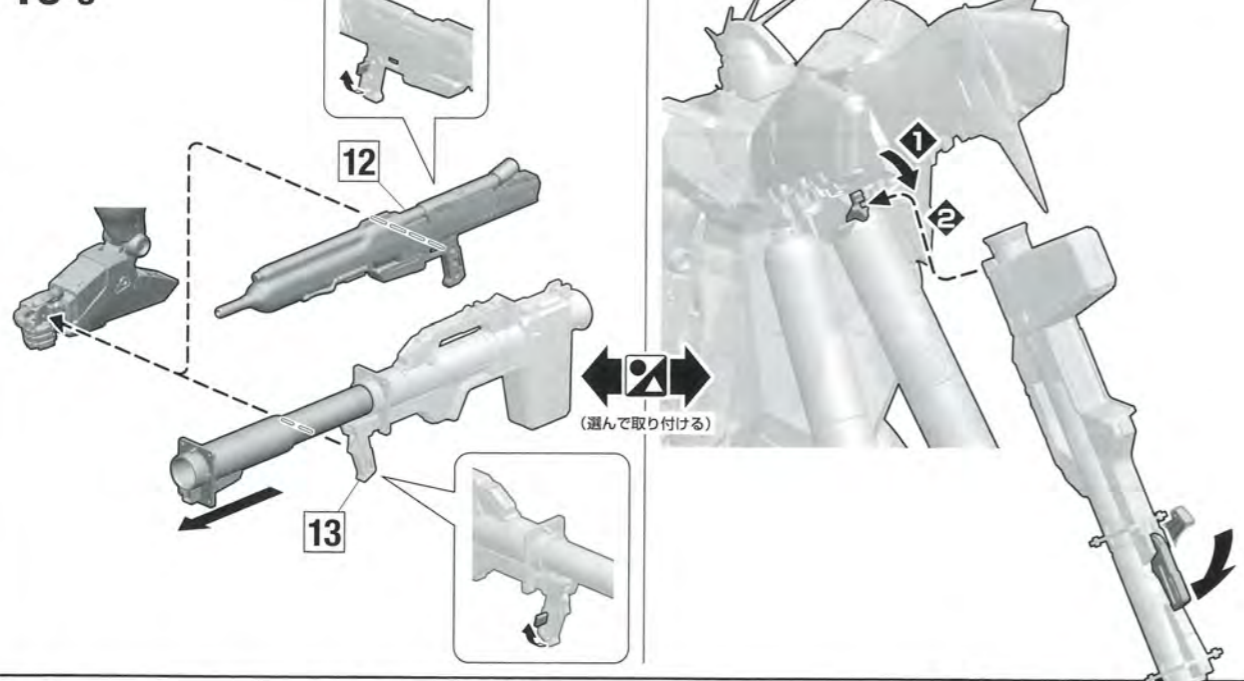
※各種武器を手を持たせるときは、必ずこの作業を行ってください。



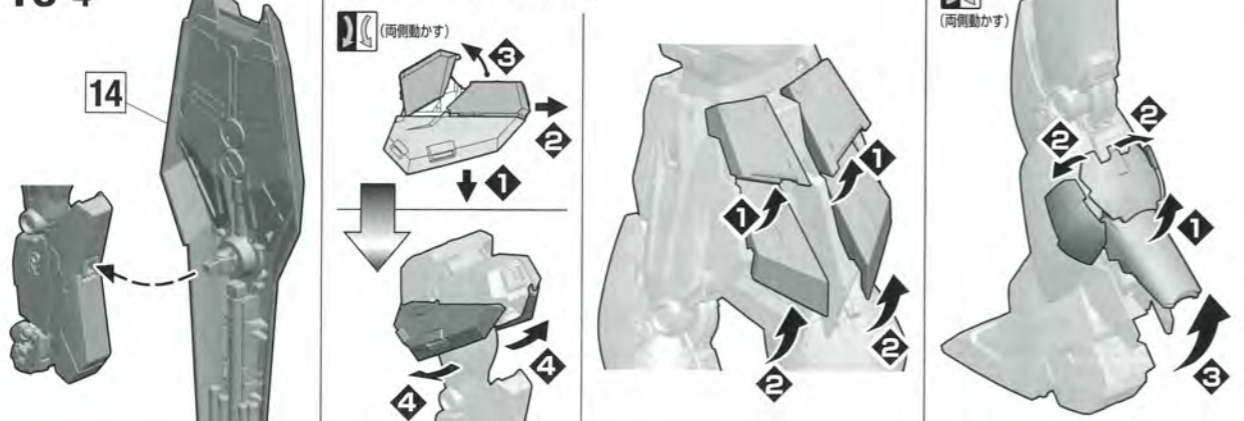
16-2



16-3

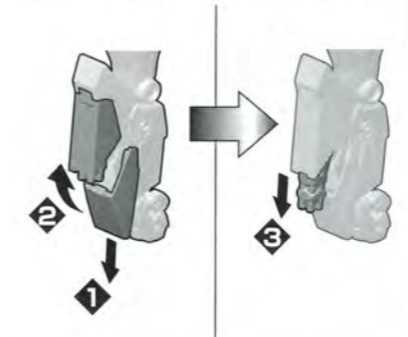


16-4



16-5

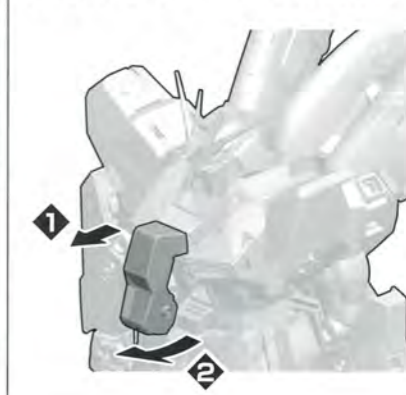
〈ビーム・ガトリングガンの展開〉



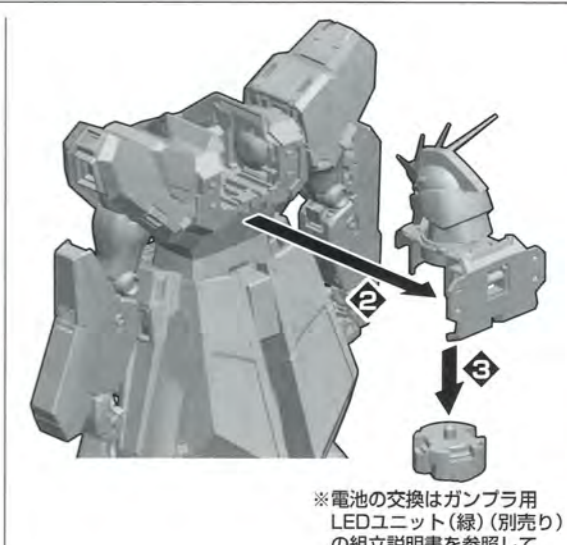
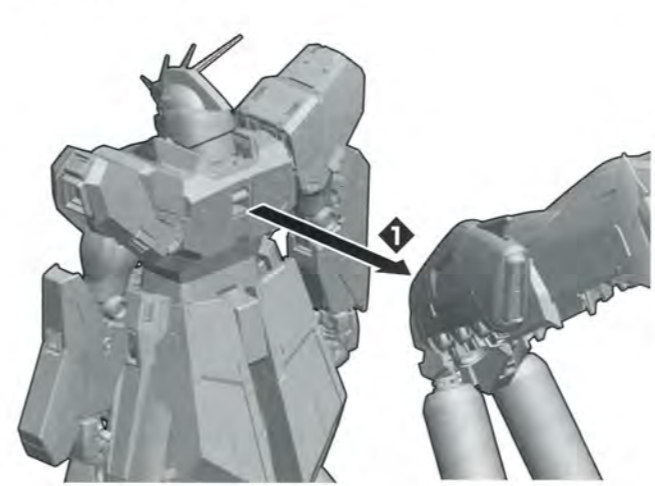
〈コクピットハッチの開け方〉



〈コクピットブロックの展開〉



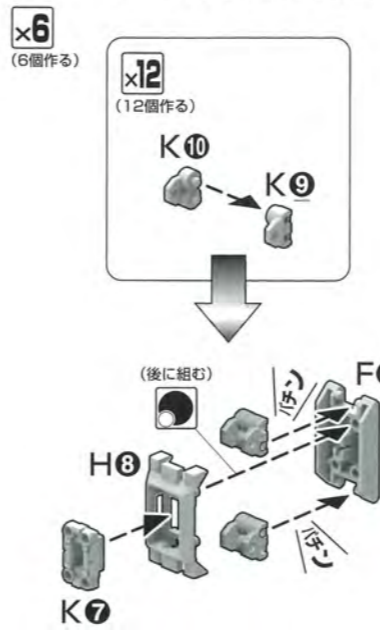
〈電池の交換〉



※電池の交換はガンブラ用LEDユニット(緑)(別売り)の組立説明書を参照してください。

17-1 FIN FUNNEL

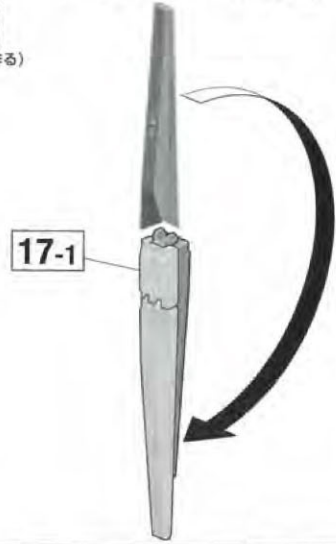
〔フィン・ファンネルの組立〕



17-2 COMPLETION

〔フィン・ファンネルの完成〕

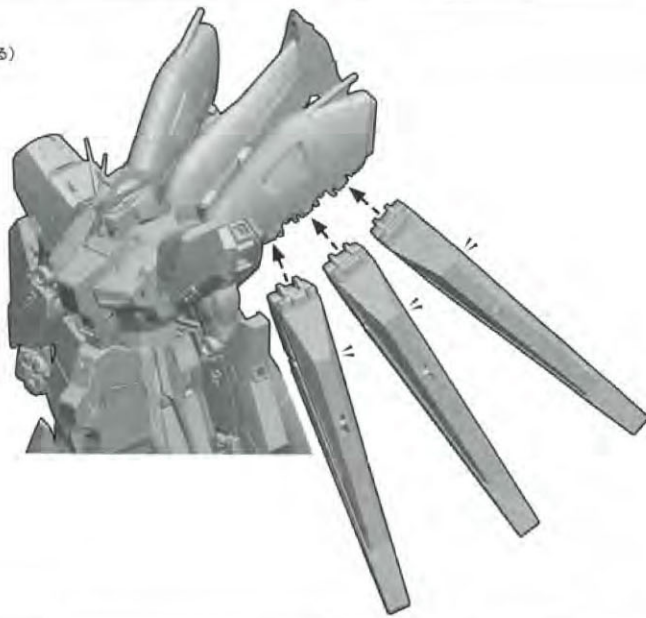
×6
(6個作る)



17-1



(両側取り付ける)



18-1 DISPLAY STAND

〔ディスプレイスタンド〕

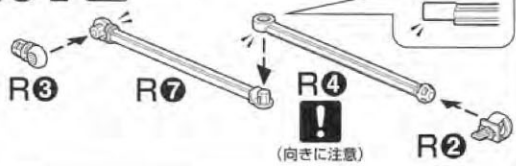
×3
(3個作る)



〈横から見た図〉

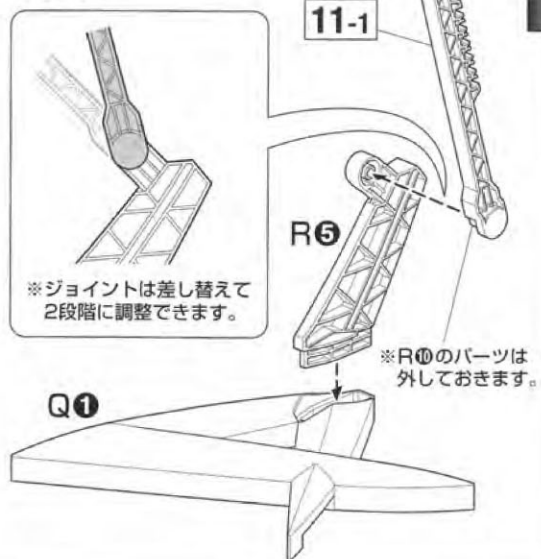
18-2

×3 (3個作る)



〈横から見た図〉

18-3



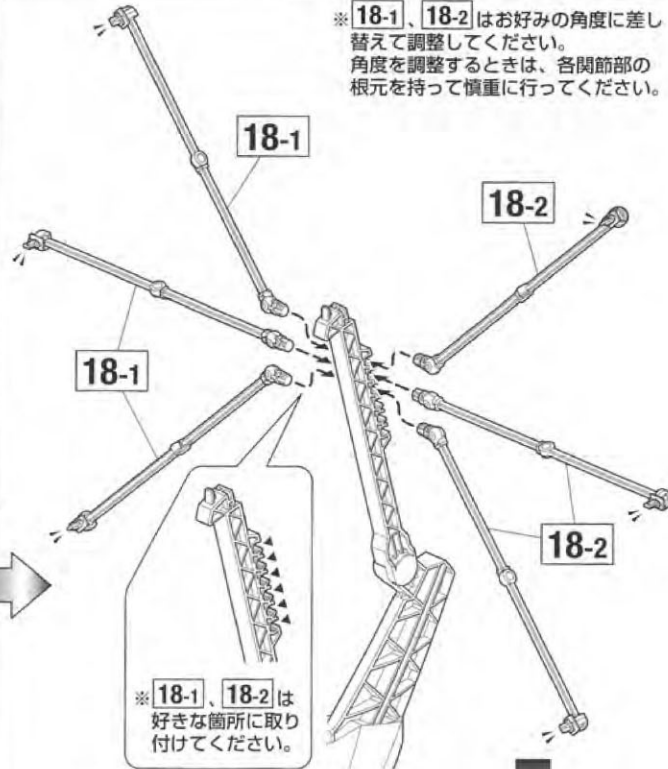
11-1

R4

※R4のパーツは外しておきます。

Q1

※18-1、18-2はお好みの角度に差し替えて調整してください。角度を調整するときは、各関節部の根元を持って慎重に行ってください。



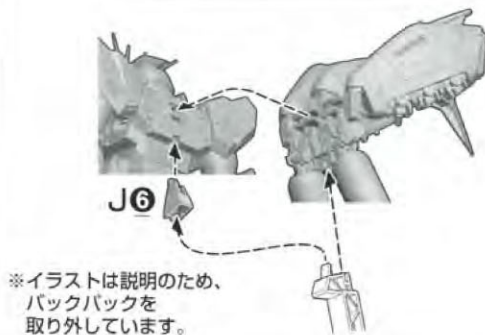
18-1

18-2

18-1

18-2

※18-1、18-2は好きな箇所に取り付けてください。



J6

※イラストは説明のため、バックパックを取り外しています。

18-4 〈フィン・ファンネルのディスプレイ〉

×6
(6個作る)



※17-1の状態から変形します。

90°

90°

18-3

